

基本方針

墨田区文化振興財団は、平成8年の設立以来、新日本フィルハーモニー交響楽団(以下「新日本フィル」という。)と連携しながら、すみだトリフォニーホールでの音楽事業や区内各所におけるアウトリーチ活動を展開しているほか、平成28年には、すみだ北斎美術館の指定管理を受託し、すみだの世界に誇る「北斎」を紹介する展覧会を中心に事業を推進している。

令和2年度には、これら墨田区の重要な文化芸術活動の拠点施設が、ともに今期指定管理の最終年度を迎えることから、これまで実施してきた各種事業及び施設の管理運営における成果と反省点を踏まえ、今期の目標に向かって取り組んでいく必要がある。

一方、「墨田区における文化芸術振興のあり方検討調査」の報告書で提起された、当財団に期待される役割である「区民等の文化芸術活動に対する中間支援機能の強化」に向けて、今後の事業のあり方などを検討し、取組みを具体化していくことが求められている。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせて、これに関連する事業を実施して大会の機運醸成を図るとともに、すみだの文化の魅力を国内外に発信することによって海外からの誘客にも力を入れ、地域の活性化を図っていく。

以上の点を踏まえ、令和2年度の当財団の運営及び事業については、次の各項目を基本に実施する。

- すみだトリフォニーホールでは、新日本フィルとの連携・協力による事業や自主企画公演などにおいて、クラシックを中心に多彩なジャンルの公演を実施することで、区民が音楽を身近に感じられる取組みを推進するとともに、オリンピックに関連する内容を盛り込んだ、幅広い世代が楽しめる公演や、障がいのある方にきめ細かく対応した公演を実施する。
- すみだ北斎美術館では、企画展を5回開催する中で、オリンピック・パラリンピックの開催時期には、海外からの来館者を念頭において、北斎の代表作や館の目玉作品を披露するほか、新聞社との共催企画や重要文化財を含む企画展にも取り組み、話題性と魅力に富んだ展覧会を開催する。さらに、今年度の実績を踏まえて「常設展プラス」を開催し、オリジナル作品を鑑賞できる環境を整えていく。
- 両施設で行う事業のほか、区内各所で多彩なアウトリーチ活動や教育普及活動を実施し、学校や文化団体等と連携しながら、地域における文化芸術活動の活性化を図る。
- 区民による文化芸術活動を支援し、助成事業や情報収集・提供事業を推進するとともに、地域で起きている様々な文化的事象を把握し、文化芸術振興に関する相談に応じて必要な情報を提供し、場と人材をつなぐ中間支援組織としての役割を強化していく。
- 公益財団法人として、安定した財政運営のもとで、更なるガバナンスの強化とコンプライアンスの推進に努めるほか、区及び区民の文化芸術振興を担う団体として専門性の向上を図るため、組織力及び職員の能力の向上に努めていく。

事業体系

- I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業
 - 1 音楽等の鑑賞機会の提供
 - 2 区民等による音楽活動の促進及び育成
 - 3 公演情報等の発信
 - 4 施設の利用及び維持管理に関する業務

- II すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業
 - 1 資料収集・保管事業
 - 2 調査研究事業
 - 3 展示事業
 - 4 教育普及事業
 - 5 図書室運営事業
 - 6 施設の利用及び維持管理に関する業務

- III 墨田区域における文化芸術活動の支援事業
 - 1 すみだ文化芸術活動助成事業
 - 2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営
 - 3 文化政策及び文化事業に関する調査
 - 4 アートプロジェクト等の推進事業
 - 5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

当ホールは、フランチャイズ・オーケストラを活用した公演ほか各種の音楽事業を通じて、音楽等の芸術鑑賞の機会と自主的な芸術文化活動の場を、区民をはじめ広く提供している。

平成30年度には、文化庁の「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」において、16ホールの1つとして全国から採択され、事業を推進しているところである。

一方、令和2年度は、第3期指定管理の最終年度に当たり、今期の総仕上げの年度となることから、各種事業及び施設の管理運営におけるこれまでの成果と反省点を踏まえ、次期指定管理に向けて必要な改善に取り組んでいく必要がある。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせて、これに関連する公演を積極的に企画・実施することにより、大会の機運醸成を図るとともに、すみだの魅力を国内外に発信し地域の活性化を図ることが求められている。

以上の点を踏まえ、令和2年度のすみだトリフォニーホールの事業については、次の方針に基づいて実施する。

- (1) 新日本フィルとの連携・協力による事業や自主企画公演などにおいて、多様なニーズに応じた幅広いジャンルの公演を企画・実施することによって、区民が音楽を身近に感じられる取組みを推進する。
- (2) オリンピック・パラリンピック関連事業では、幅広い世代が楽しめるエンターテインメント性の高い公演や、障がいのある方を対象にした公演を実施する。
なお、自主企画公演については、必要経費を精査し、これに対する入場料等の収入見込を勘案のうえ、適正な本数を実施する。
- (3) 区立小・中学校や区内福祉施設等でのアウトリーチ活動が、より親しみやすいものとなるよう実施内容等を検討するほか、ジュニア・オーケストラの育成、誰でもコンサート、さらには、地域の文化団体等との協働事業を推進し、音楽を通じた地域コミュニティの形成とまちの活性化に積極的に取り組んでいく。
- (4) 施設貸出では、大・小ホールともに、各種事業の予定やメンテナンス等の日程調整に留意し、貸出し可能な日数を増やすとともに、ホームページ・SNSの効果的な活用による広報力の強化及び区観光協会や他施設との連携によって、施設稼働率と利用者数を向上させ、利用料金の増加につなげる。
- (5) 当ホールが安全かつ快適な施設として適切に運営されるよう、建物及び各種設備について、委託業者との連携のもとで定期点検や日常点検を行い、必要な維持補修を実施するなど、施設の良好な維持管理に努める。

さらに、省資源・省エネルギー・廃棄物の減量化による施設管理コストの節減と、施設の安全管理の徹底、災害時や非常時における必要な対策を講じていく。

1 音楽等の鑑賞機会の提供

(1) 公演事業

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、新日本フィルを活用した公演を実施する。あわせて、自主企画公演として、区民をはじめとする誰もが参加しやすい公演、世界の第一線で活躍する音楽家による「ホールのブランドイメージの向上に資する」公演等を実施する。

また、大ホールのシンボルであるパイプオルガンの演奏に加え、日頃は非公開のバックステージ・ツアーを開催する。さらに、財団と新日本フィル等との共同主催・共催による多彩な公演を実施する。

■フランチイズ・オーケストラ活用主催公演（7事業7公演）

No.	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
1	【名称】新日本フィルの生オケ・シネマ「チャップリン<<街の灯>>」 【時期】2020年5月30日（土） 【対象】映画&オケ・ファン、N J P会員等 【企画趣旨】 <u>地域密着・普及啓発型事業①</u> チャップリン・シリーズ第5弾。コンサートホールとして生音にこだわり実施する。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	フランク・ストローベル
		ソリスト	なし
		演 目	映画：チャップリン「街の灯」
		料 金	一般5,000円（区民4,000円、高校生以下1,000円、ペア8,000円）
2	【名称】Sound Dream Project～みんなの音楽会～ 【時期】2020年6月10日（水） 【対象】区民等の初心者・初級者、障がい者等 【企画趣旨】 <u>地域密着・普及啓発型事業②</u> 誰もが知っているクラシック音楽を中心に、聴覚障がいをお持ちの方には「SOUND HUG」（鑑賞を補助する機器）を用意するなど、誰もが音楽を楽しめる機会として実施する。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	永峰大輔
		ソリスト	なし
		演 目	未定
		料 金	一般3,000円（区民1,000円）
		その他	墨田区在勤のパラリンピック出場選手も出演予定
3	【名称】世界の映画名シーンとスポーツの祭典を彩る音楽コンサート 【時期】2020年8月10日（月・祝） 【対象】区民等の初心者・初級者 【企画趣旨】 <u>地域密着・普及啓発型事業③</u> オリンピック・パラリンピックの開催年に当たり、世界の映画とオリンピック関連音楽により、3世代にわたって気軽に楽しめるコンサートとして実施する。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	竹本泰蔵
		ソリスト	なし
		演 目	バンビ、カサブランカほか映画音楽
		料 金	一般3,000円（区民2,500円、すみだ学割1,000円、ペア5,500円）
4	【名称】下野竜也 音楽の魅力発見プロジェクト 【時期】2020年8月15日（土） 【対象】区民等の初心者・初級者 【企画趣旨】 <u>地域密着・普及啓発型事業④</u> シリーズ企画の第7回目。区民等に低料金のオーケストラ鑑賞機会を提供。前回に続きレクチャー付きコンサートとして実施する。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	下野竜也
		ソリスト	未定
		演 目	未定
		料 金	一般3,500円（区民2,000円、すみだ学割1,000円）
5	【名称】エリソ・ヴィルサラージェ&新日本フィルハーモニー交響楽団 【時期】2020年11月7日（土） 【対象】ピアノ&オケ・ファン、N J P会員等 【企画趣旨】 <u>ブランドイメージ形成型事業①</u> 世界トップクラスのピアニストと新日本フィルとの共演による、ホールのブランドイメージの向上に資する公演。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	アリエル・ズッカーマン
		ソリスト	エリソ・ヴィルサラージェ
		演 目	ベートーヴェン/協奏曲第3番、第5番
		料 金	S席6,000円、A席5,000円 （区民S席4,000円、学生券3,000円、すみだ学割1,000円）

6	【名称】 綾小路きみまろ爆笑ライブ&新日本フィルハーモニー交響楽団 【時期】 2020年12月6日(日) 【対象】 漫談ファン&区民等の初心者・初級者 【企画趣旨】 <u>地域密着・普及啓発型事業⑤</u> 人気漫談家と新日本フィルとのコラボレーションにより新たな聴衆を開拓する。	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	角田鋼亮
		出演者	綾小路きみまろ(漫談)
		演目	グローフェ/「ミシシッピー組曲」他
		料金	一般3,800円(区民3,500円、ペア6,000円)
7	【名称】 すみだ平和祈念コンサート2021「上岡敏之 & 新日本フィルハーモニー交響楽団」 【時期】 2021年3月10日(水) 【対象】 オケ・ファン、NJP会員等 【企画趣旨】 <u>文化芸術創造・発信型事業①</u> 新日本フィル音楽監督・上岡敏之氏による平和祈念コンサート。音楽による平和のメッセージを発信する。	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	上岡敏之
		ソリスト	未定
		演目	ベートーヴェン/交響曲第2番ほか
		料金	S席4,500円、A席2,000円(区民S席3,500円、すみだ学割1,000円)
	その他	関連事業として、アンサンブルコンサート(アウトリーチ)を3月10日(水)に開催	

■大ホール等における自主企画公演(4事業4公演)

No.	名称/時期/対象/企画趣旨	内容	
1	【名称】 松之丞改め六代目 神田伯山独演会@すみだ 【時期】 2020年6月1日(月) 【対象】 講談ファン 【企画趣旨】 <u>地域密着・普及啓発型事業⑥</u> 多彩なジャンルの舞台芸術鑑賞の機会を提供するとともに、実際にホールに足を運んでもらうことにより、音楽コンサートの新規来場者の開拓にもつなげていく。	出演者	神田伯山(講談)
		演目	未定
		料金	一般3,500円(区民3,000円)
2	【名称】 ベルリンフィル・ホルンカルテットの世界一周 【時期】 2020年7月2日(木) 【対象】 吹奏楽ファン 【企画趣旨】 <u>ブランドイメージ形成型事業②</u> 世界屈指のオーケストラ・ベルリンフィルが誇るホルンセクションによる四重奏。ホールのブランドイメージの向上に資する公演として実施する。	出演者	ベルリンフィルホルン奏者(シュテファン・ドール、シュテファン・ドゥ・ルヴァン・イエジエルフスキー、サラ・ウィリス、アンドレイ・ズスト)
		演目	世界の名曲
		料金	一般3,800円(区民3,000円、高校・大学生3,000円、小中学生以下2,000円、すみだ学割1,000円)
3	【名称】 クリスマス・オルガンコンサート 【時期】 2020年12月11日(金) 【対象】 区民等の初心者・初級者 【企画趣旨】 <u>地域密着・普及啓発型事業⑦</u> 地域への普及啓発を意識した安価で、誰もが参加しやすい短時間の公演。クリスマスにちなんだ身近な名曲を中心に実施する。	出演者	オルガニスト(未定)
		演目	クリスマスソングほか
		料金	1日3回公演(予定) ① 午前の部 10:15~(一律500円) ② 昼の部 12:15~(一律500円) ③ 夜の部 19:00~(一律1,000円)
4	【名称】 トンコープマン・ヴァレンタイン・オルガンコンサート 【時期】 2021年2月11日(木・祝) 【対象】 オルガンファン&区民等の初心者・初級者 【企画趣旨】 <u>ブランドイメージ形成型事業③</u> パイプオルガンの巨匠トン・コープマンによる本格的なオルガンコンサート。ホールのブランドイメージの向上に資するとともに、新規来場者の開拓にもつなげる。	出演者	トンコープマン
		演目	未定
		料金	一般3,000円(区民2,500円、すみだ学割1,000円、ペア5,000円)

■その他主催公演

名称／時期／対象／企画趣旨	内 容	
【名称】 オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 【時期】 ① 10月1日(木) 午前・午後 計2回 対象：未就学児(保護者同伴) ② 1月8日(金) 午前・午後 計2回 対象：車いす利用の方、視覚に障がいのある方 ③ 2月26日(金) 午前・午後 計2回 対象：一般 【企画趣旨】 パイプオルガンの有効活用を図りながら、誰もがホールに親しめる機会を提供する。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
	出演者	オルガニスト (未定)
	演 目	パイプオルガン・ミニコンサート+バックステージ・ツアー
	料 金	500円 (②は無料)

■新日本フィルとの共同主催・共催による公演

実施時期	公 演 名	会 場	
共同主催	4月3日(金)	ファミリーコンサート(指揮:宮川彬良)	すみだトリフォニーホール大ホール
	7月23日(木・祝)	サマーコンサート(指揮:上岡敏之)	
	12月31日(木)	ジルベスターコンサート(指揮:未定)	
	1月3日(日)	ニューイヤーコンサート(指揮:未定)	
共 催	通年 18公演	名曲を中心とした「ルビー〈アフタヌーンコンサート〉」	すみだトリフォニーホール大ホール
	通年 12公演	定期演奏会「トパーズ〈トリフォニー・シリーズ〉」	
	12月20日(日)	「第九」特別演奏会	

■共同主催公演

実施時期	公 演 名	会 場
8月16日(日)	すみだストリートジャズ・フェスティバル	すみだトリフォニーホール大・小ホール

■その他共催公演（9公演程度）※この他、追加の予定あり。

実施時期	公 演 名	会 場
5月11日(月)	ジョバンニ・ソツリマ特別公演	すみだトリフォニーホール大ホール
5月23日(土)	エリーナ・ガランチャ スペシャルリサイタル	
5月28日(木)	同 上 (追加公演)	
9月24日(木)	新イタリア合奏団&村治佳織	
11月3日(火・祝)	ラ・プティット・バンドのマタイ受難曲	
12月5日(土)	ケルティック・クリスマス2020	
12月12日(土)	ディズニー・オン・クラシック	
12月24日(木)	クリスマス☆ゴスペル2020	
2月28日(日)	群馬交響楽団 東京公演	

(2) アウトリーチ事業

新日本フィルによる区立小・中学校での音楽指導事業やコミュニティコンサートのほか、区内福祉施設等におけるふれあいコンサートなどのアウトリーチ活動を、以下のとおり実施する。

■区立小・中学校での音楽指導（小学校 25 校、中学校 11 校）

内 容	会 場
新日本フィル楽団員による音楽指導授業	区立小・中学校全校

■コミュニティコンサート（2か所）

内 容	会 場
新日本フィルによるオーケストラ・コンサート 10月11日(日)指揮:未定	区立小・中学校

■ふれあいコンサート（18か所程度）

内 容	会 場
新日本フィルによる室内楽コンサート	区内福祉施設等

2 区民等による音楽活動の促進及び育成

(1) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

次代を担う音楽家や芸術愛好家を育成することを目的に結成された「トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ」の活動を、以下のとおり実施する。

■トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ

実施時期	内 容	会 場
通 年	週1回程度の練習	すみだトリフォニーホール
通 年	アンサンブル公演	区内施設等
8月22日(土)	ようこそ誰でもコンサート	すみだトリフォニーホール大ホール
10月18日(日)	区障がい者(児)スポーツレクリエーション大会(吹奏楽)	墨田区総合体育館
10月18日(日)	創立15周年・第30回演奏会	すみだトリフォニーホール大ホール
3月28日(日)	第31回演奏会	

(2) 区民音楽祭の実施

区内のアマチュア音楽団体等に発表の場を提供し、その活動を支援するため、「すみだ音楽祭」を実施する。

■すみだ音楽祭（3日間）

実施時期	会 場
8月23日(日)・29日(土)・30日(日)	すみだトリフォニーホール大・小ホール

3 公演情報等の発信

公演情報について、印刷物、公式ホームページ、フェイスブック、ツイッターなど多様な媒体で効果的に情報提供する。また、トリフォニーホール・チケットメンバーズ会員の加入促進を図ることにより、当ホールへのリピーターを増やしていく。

4 施設の利用及び維持管理に関する業務

(1) 施設利用に関する業務

ア 施設設備の利用申請・承認、利用料金の徴収については、すみだトリフォニーホール条例及び同条例施行規則に基づき適正に処理する。また、利用の適格性や利用申請の重複による優先順位を審査する「施設利用調整委員会」を定期的開催し、公平かつ公正な施設利用に努める。

イ ホールへの意見・要望の共有化やサービス改善への具体的検討を行い、施設等の利用者サービスの向上を図るため、ホールスタッフによるミーティングを定期的開催する。

ウ 利用者が安心して利用できる施設環境を維持するため、施設内外の巡回、設備機器等の点検により安心・安全の確保を図る。また、急病人・怪我人等の事故が発生した場合の迅速な処理に努めるほか、地震・火災等に備え、消防計画に基づき消防訓練を実施するとともに、所属する錦糸町第3街区4棟共同防火管理協議会の地区隊においても、他の隊と協力して消防訓練を実施する。

(2) 施設設備の維持管理

当ホールは多くの来館者が集う公共施設であることから、安全で快適なホール環境の維持に努めていく。設備等の劣化及び破損等については、日常的に点検し安全確保や機能維持のための小規模修繕を適切に実施する。

さらに、大規模修繕については、ホール運営への影響を可能な限り最小化するために、区及び関係者間で協議をし、実施スケジュール等の具体化を図っていく。

II すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

令和2年度が今期指定管理の最終年度にあたることから、これまでの実績を踏まえ、より安定したホスピタリティあふれる館運営を実現し、当美術館での各種事業を通じて文化芸術振興と地域の活性化に寄与することを目指していく。

北斎を核とした墨田区の文化芸術振興施策の重要拠点として、区と連携しながら当美術館の魅力を広く発信し、近隣の博物館等とのネットワークによる事業を展開する。あわせて、北斎を顕彰する専門美術館として関連学会等との連携をとりつつ認知度向上を図り、利用者満足度が高い展覧会・イベントを企画し実施するとともに、教育普及活動も推進していく。

また、東京オリンピック・パラリンピックの開催に際し、国内外からの来館者、特に海外からの来館者誘客に力を入れ、北斎を契機とする国際交流の一助となるよう日本文化の紹介に努めていくほか、国内外の美術館との交流も推進していく。

- (1) 北斎の画業や人物像に多面的な切り口から迫り、その時代背景の考察や今日に及ぶ影響まで、幅広い観点からの展示事業を実施する。
- (2) 国内外の美術館やこれまでに友好協力協定を締結した美術館と連携し、その所蔵品等によって展覧会を実施する。さらに、美術館を通じた国際交流の取組みを推進することによって、国外からの来訪者を呼び込むサービスを提供し、国内外に向けた情報発信を促進する。
- (3) 区民の生涯学習の場としての役割を担うとともに、墨田区教育委員会及び教育諸団体と連携して、児童、生徒、学生に向けて北斎の偉業を伝え、郷土が育んだ日本の偉人として周知していく。
- (4) 北斎等をテーマとする「すみゆめ」プロジェクトをはじめとするアートプロジェクトや、区内の文化施設等と連携した文化活動を推進するとともに、両国地区の観光事業に協力し、観光・産業など地域の活性化に寄与する。
- (5) 合理的で効率的な館運営を目指すとともに、新たな来館者層の開拓、リピーターとなる美術館ファンの獲得を図り、安定した集客が継続的に実現できる運営基盤を構築する。
- (6) 昨年度に試行開催した「常設展プラス」により、来館者及び収入増の実現を目指す。

1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を探し出し、候補資料の調査から収集まで全面的に協力し作品収集に貢献する。また、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管する。

2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究し、その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積を図り、展示や刊行物を通じて一般から専門家まで広く情報を発信していく。

【調査・研究の対象と視点】

- ・ すみだをはじめとするゆかりの地との関わりについて
- ・ 北斎とその門人の肉筆画・版画・版本等の作品の調査・研究
- ・ 北斎と同時代の文化との関連の研究

3 展示事業

話題性と魅力に富む展覧会を立案するとともに、講座やイベントなどの関連企画や教育普及活動との連動により、集客を意識した展示事業を実施していく。

常設展示では、北斎の生涯について実物大の高精細レプリカ作品と情報端末でわかりやすく紹介するとともに、4階展示室において、期間限定で常設展プラスを実施し、来館者に対してオリジナル作品の観覧機会を広げるとともに来館促進につなげる。

企画展示では、北斎とその門人の作品展示を基本としながら、北斎の偉業を幅広くとらえ、多角的な展示を行い、利用者目線に立った展示方法に取り組む。さらに、重要文化財の借用展示に向けて関係者と協議を行い、公開承認施設の認定を目指していく。

■企画展示の年間計画

展覧会名	北斎師弟対決！
開催期間	4月1日(水)～4月5日(日)【5日間】 ※前年度より継続
観覧者数	2,600人見込
展覧会名	大江戸歳事記 北斎と楽しむ四季のイベント
開催期間	4月21日(火)～6月14日(日)【48日間】
展示概要	節句や祭礼などの年中行事に焦点を当て、北斎や門人たちが描いた当時の風俗を紹介し、色々な行事や祭礼に加え、季節ごとに登場する行商などの風俗を描いた作品も展示し、江戸の四季を紹介する。 北斎や弟子の作品から、150年以上前の江戸の1年を身近に感じ、私たちの先人の生活に思いを馳せていただく。
展示点数	約80点
主な展示資料	葛飾北斎「朱描鍾馗図」、「雪月花 隅田」
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	24,680人見込
展覧会名	THE北斎 富嶽三十六景と幻の絵巻
開催期間	6月30日(火)～8月30日(日)【54日間】
展示概要	北斎生誕260年を記念し、すみだ北斎美術館の二大名品「富嶽三十六景」シリーズと開館記念展で約100年ぶりの再発見として話題となった幻の絵巻「隅田川両岸景色図巻」を中心に、人気の高い北斎作品約100点を一堂に展示する。北斎の名作の数々を通して、日本の四季の美しさ、江戸時代より観光スポットとして知られる隅田川周辺の名所を紹介しながら、北斎のたぐい稀な筆力と発想力、隅田川をめぐる江戸情緒をご堪能いただく。
展示点数	約100点
主な展示資料	葛飾北斎「隅田川両岸景色図巻」、「富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見」、「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」
観覧料	一般 1,200円
観覧者数	27,870人見込

展覧会名	しりあがりサン北斎サン(仮称)
開催期間	9月15日(火)～11月8日(日)【48日間】
展示概要	しりあがり寿氏既存作品の展示と新作制作の展示を予定。北斎が描いた作品バリエーションを伝えられるような「浮世絵」「版本」「肉筆画」とともに、北斎にインスパイアされたしりあがり寿氏の映像作品等現代アートも展示
展示点数	未定
主な展示資料	未定
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	24,850人見込
展覧会名	GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ
開催期間	11月25日(水)～1月24日(日)【49日間】
展示概要	現代のマンガのルーツを、商業流通に乗った江戸の浮世絵、特に戯画や風刺画などに求め、戦前までのマンガの流れをたどる。毎日新聞社との共催企画
展示点数	約320点
主な展示資料	葛飾北斎「北斎漫画」すみだ北斎美術館、歌川国芳「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」、河鍋暁斎「絵新聞日本地」「東京パック」以上すべて京都国際マンガミュージアム
観覧料	一般 1,200円
観覧者数	25,270人見込
展覧会名	絵師の筆づかい展(仮称)
開催期間	2月9日(火)～4月4日(日)【48日間、うち2年度は44日間】
展示概要	浮世絵と言えはすぐに版画が想起されるが、絵師が絵筆をふるった一点ものの肉筆画のほうが発生は古く、その豊かで複雑な彩色によって、描き手の筆づかいを直接感じることができる。本展では、浮世絵の先駆とされる岩佐又兵衛の重要文化財指定を受けた貴重な作品をはじめ、浮世絵の始祖、菱川師宣以降の勝川春章、喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川国芳などの主要な浮世絵師の肉筆画を展覧する。浮世絵の発生当初からある肉筆画を通して、浮世絵の大きな歴史の流れをご覧いただくとともに、それぞれの絵師の巧みな筆づかいを堪能し息吹を感じていただく。
展示点数	約100点
主な展示資料	岩佐又兵衛「弄玉仙図」摘水軒記念文化財団【重文】、葛飾北斎「団扇と美人図」個人蔵(予定)
観覧料	一般 1,200円
観覧者数	22,430人見込

4 教育普及事業

北斎や浮世絵などへの理解促進を図ることを基本としながら、美術館活動への理解と地域や郷土を愛し誇りとする心を育むことを主眼に、対象者の層に応じた多岐にわたる教育普及活動を行う。館内での活動だけでなく、教育機関との連携や、さまざまな地域活性化プログラムとも連動しながら、館外での取組みにも注力していく。

(1) 館に親しみを持つ層の拡大

各方面の幅広い層を対象に北斎をよりよく知ってもらうための各種講座、イベント、ワークショップを館内外で実施する。区内にとどまらず区外への出講も積極的に取り入れ、当館の魅力をPRするとともに、来館を促す活動を進めていく。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催年に当たり、国外からの来館者が北斎への理解を深められ、障がいのある方々も北斎と美術館に親しみをもてるよう、鑑賞方法や解説などを工夫した取組みを行う。

観光客でも気軽に参加できるような、魅力のあるイベント、ワークショップを実施する。

(2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内及び区外の学校に出向いて、北斎の基礎的な情報を知ってもらう講座や、北斎を学び体験する授業等、校種、学年に応じた多彩なプログラムを実施する。学校の団体利用については教育委員会や教育研究会と連携し、北斎や展示内容に関する講義や解説を行う。

(3) 地域との結びつきを深める取組み

墨田区の文化振興事業と連携して、美術館を地域の文化活動の拠点として活用する取組みを推進していく。地元団体等と協力することで、地域の活性化につながる活動につなげていく。

5 図書室運営事業

北斎に関する専門図書室として所蔵資料の情報を適切に整理し、子どもから研究者まで多様な利用者の興味や関心に応えられるよう、開架と閉架を併用したサービスを行う。開架では手に取りやすい一般書籍を中心として閲覧に供し、貴重書は閉架書庫にて保管する。

あわせて、展覧会に応じた特設コーナーや子ども向けコーナーを設けるなど、誰もが入室しやすい環境を整えて「開かれた図書室」を目指し、夏休み等の研究課題相談コーナー等の開設を検討していく。

【業務内容】

- ・ 図書資料の収集、整理、保存、閲覧サービス、レファレンスサービス、複写サービス等
- ・ 専用情報システムによる収蔵図書資料に関する情報提供

6 施設の利用及び維持管理に関する業務

各種イベントやレセプション等の開催場所として施設を活用する。公平・平等な運営により、施設の利用促進及び利用者サービスの向上を図るとともに、美術館が連携する企画や区民の文化活動を支援するために講座室を貸し出す。貴重な北斎作品等の資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務を優れた実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施する。あわせて、集客施設として、来館者により密接な受付・案内業務を効率的に行う。

なお、繁閑等の状況に応じて、必要なポスト数をフレキシブルに調整する。

Ⅲ 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

墨田区の様々な文化芸術活動や拠点に関する情報を収集・発信し、本区に活動拠点を置く文化団体やアーティスト等の活動を支援することを目的に、助成事業やサイト運営等を行う。また、すみだ北斎美術館の開館を契機として始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会事務局を担い、事業の円滑な推進を図る。

助成事業や「すみゆめ」等を通じて、本区を中心に起きている多彩な文化芸術活動の動向を把握し、文化団体やアーティスト等からの相談に応じ、場の提供や人材の紹介などを行っていく。多くの文化芸術活動の担い手が集い、ネットワークが形成され、幅広い分野で新たな活動が創造されるよう、その基盤整備に努めていく。

1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、区内を活動拠点とする文化団体を対象とした育成事業で、平成30年度に区から財団に事業移管された。新年度、早期の事業実施に対応するため、助成の募集及び選考は令和元年度中に行った。

公募段階での申請者からの相談や選考前のヒアリング、さらには助成活動の現地視察を行うことで、助成団体や活動の実態と課題を把握し、本事業の成果を検証するとともに、制度の改善に反映させていく。

■実施概要

- ・ 補助対象:5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。
- ・ 補助金額:対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。
- ・ 令和2年度助成予定:補助金総額350万円、交付対象9件(申請件数13件)

2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うため、平成26年度に開設した本サイトは、区内の官民の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報が登録方式で集約されており、登録者が区内外で行うイベント情報を掲載できる。

平成30年度より財団に事業移管されて本サイトを運用しているが、登録者数及びイベント情報の掲載件数が伸びず、発信力が乏しいという課題がある。このため、情報サイトのあり方を検討しつつ、より使いやすく活用されるサイトとなるよう、イベント掲載条件の改定と、掲載情報の内容を検討していく。

■運用実績 (平成31年4月1日～令和2年3月3日)

- ・ 登録数:152件(前年度146件)
(内訳) アーティスト51件・団体36件・施設51件・公共施設14件
- ・ 総アクセス数:19,140件(前年度14,449件)
- ・ 総ページビュー:36,439PV(前年度28,955PV)

3 文化政策及び文化事業に関する調査

昨年度、墨田区からの委託により実施した「墨田区における文化芸術振興のあり方検討調査」に基づき、財団の中間支援機能を高めるために、国や他自治体の文化政策の動向等について継続的に情報収集を行う。あわせて、財団が行う事業の改善に向け、必要に応じて、財団アドバイザーボードや文化政策の研究者等の意見を参考に検討する。

4 アートプロジェクト等の推進事業

すみだ北斎美術館の開館を機にスタートしたアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」を実行委員会により実施し、その事務局運営を財団が担う。実行委員会では、「北斎」「隅田川」を主なテーマに区内及び隅田川流域で行われる多彩な表現活動を募集し、補助金を交付するとともに、参加団体相互の交流を促す企画を推進する。あわせて、「すみゆめ」を象徴するような企画を主催事業として実施する予定である。

オリンピック・パラリンピック・イヤーとなる 2020 年を一つの節目と捉えており、区民等による主体的な活動を支援し、すみだの地域資源と魅力を顕在化させることで、さまざまな場と NPO やアーティストなど文化芸術の担い手をつなぎ、人的ネットワークの形成を目指す。

■「隅田川 森羅万象 墨に夢」の実施概要（実行委員会案）

- ・ 採択企画 1 件あたり補助金上限 100 万円、区の施設の無料・減免での利用可、技術サポート（照明・音響、展示施工など）の相談にも応じる。
- ・ チラシ、WEB、SNS を活用した広報とライターによる活動レポートを配信する。
- ・ 採択企画のほか、趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募り、広報連携等を行う。
- ・ すみゆめ参加団体が集う「寄合」を月 1 回程度、各団体の活動拠点などで実施し、情報共有と意見交換を行う。
- ・ 選考委員による活動視察や公開の報告会で成果を共有し、次年度へ継承していく。

■スケジュール（実行委員会案）

実施時期	内容
2020 年3月 1 日～4月 6 日	「すみゆめ 2020」企画募集
4 月下旬	選考会にて採択企画を決定
5 月上旬	採択企画の発表、参加団体へのオリエンテーション
8 月 8 日～12 月 20 日	「すみゆめ 2020」メイン期間
2021 年2月下旬	報告会

5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

助成事業や「すみゆめ」等に関わる文化団体やアートNPO等に限らず、区内及び墨田区を中心に行われる文化芸術活動の動向を把握し、必要に応じて協力・参加することで幅広いネットワーク形成と情報の蓄積に努める。東京藝術大学が足立区・台東区・墨田区と連携して始めた文化政策に関する勉強会への参加や、東京都が当地域で開催する Tokyo Tokyo FESTIVAL 等と情報発信で連携を図るなど、地域における文化芸術活動に積極的に関わっていく。